



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー第 2790 地区 第 8 グループ

創立 1957 年 3 月 23 日

銚子ロータリークラブ会報

第 3159 号 2022 年 3 月 23 日(水)発行

Rotary



例会場 銚子商工会館 5 階大会議室 (銚子市三軒町 19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第 65 代会長 石毛 充 ◇副会長 高瀬幸雄 ◇幹事 須永清彦

今週のプログラム

創立記念例会

「創立 50 周年・60 周年を振り返って」

第 50 代会長 杉山 俊明会員

第 60 代会長 島田洋二郎会員

前回例会報告 (3 月 16 日)

点 鐘：石毛 充会長

ロータリーソング：それでこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジターなし

会長挨拶

皆さんこんにちは。ローター活動について報告致します。先週の 12 日土曜日に 2022~23 年度会長エレクト研修セミナーが開催され、高瀬幸雄副会長が出席、次年度に向けての準備がスタートしました。また、13 日の日曜日には、2021 学年度米山記念奨学生修了式にショハーン君が出席され、カウンセラー代表として銚子クラブ大里忠弘さんが謝辞を述べられました。重なりましたが、13 日、第 8・第 9 グループ合同会員基盤向上セミナー(IM)がコロナ禍の為、オンラインで開催されました。

セミナーの中で、以前銚子クラブへもおいでになられた NPO 法人テラ・ルネッサンス創設者・鬼丸昌也様より「支援の現場で学んだ、ひと・チーム・世界の考え方」をテーマに特別講演をいただきました。鬼丸さんは、カンボジアでの地雷撤去の活動中にウガンダの内情を知り、地雷の被害者であり当時子ども兵だった方に出会ったことがきっかけです、と話していました。

「何かしたい。自分にできる事はないだろうか」と考え、まずは現地に行き数名の子ども兵と会ってみたそうです。実際に聞く話は、悲しく無残な話ばかりでした。

彼らは肉体的には大人になっていますが、子ども兵だった時の記憶や体験による心の傷に今も苦しめられているそうです。そこで、悲しみを受け止めるために必要なのは優しさであり、温かさにたくさん触れてもらうことこそが大切なのではないか、と考えたそうです。

鬼丸さんが良く言われています「私たちは微力ではあるが、無力ではありません。私たちの生活の中に様々な原因があるからこそ、私たちの変化が世界の変化につながっていきます」と。事実を知り、それを大勢の人々に伝える事がとても大切なのだと述べていました。今、世界情勢が非常に不安定になっています。私は鬼丸さんの講演を聞き、今起きている現実と向き合いながら、事実を知る事、人に伝える事の大切さを学んだ気がします。

最後になりますが、セミナーでは次年度第 8 グループ・信太秀紀ガバナー補佐の挨拶があり、続いて各クラブの会長、幹事が紹介されました。なんだか次年度は楽しい 1 年になりそうな気が致します。



2021-2022年度 シェカール・メータ R I 会長テーマ
SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2790 地区ガバナー 梶原 等 (千葉 RC)
地区スローガン Love Other Spirit
～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～

製作◇広報・会報委員会 多部田恵子 廣瀬修一 大岩將道 宮内秀章◇

幹事報告

1. 財団室 NEWS 号外：ウクライナでの人道的危機への対応について
2. 風の便り Vol.7 No8 (通刊 90 号)
3. 3/5「ロータリー学友と繋がるセミナー」開催のご報告とアンケートのご協力依頼
4. ハイライトよねやま 264
…ガバナー事務所
5. 会長エレクトセミナーについてとアンケート
6. 会長エレクト研修セミナー第1回動画のアップ
…ガバナーエレクト事務所
7. 第8グループゴルフコンペのご案内
…第8グループガバナー補佐 神崎薫様
8. 令和4年春の全国交通安全運動実施について
…銚子市交通安全都市推進協議会
9. 令和3年度学位授与式及び令和4年度入学宣誓式の開催について
…千葉科学大学

会員の記念日

お誕生日おめでとうございます！



須永 清彦幹事(3月15日)

結婚記念日 猿田 正城会員(3月10日)

ニコニコBOX

◇山本 肇会員



この春長女が高校を卒業しました。4月から女子大生デビューです。あっという間の18年でした！

◇五十嵐 亘会員



長女が中学入学しました。部活動はバスケット部に入部する予定です。頑張ってください。

卓話「五大奉仕委員会 中間報告」

クラブ奉仕委員会 高瀬 幸雄委員長



銚子ロータリークラブ細則では、委員会の任務が謳われておりこのように記載されています。「クラブ奉仕委員会は、本クラブの会員が、クラブ奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえで役立つ指導と援助を与える

ような方策を考案しこれを実施するものとする」とあります。これらを実施するにおいては、それぞれの小委員会の計画に委ねられています。クラブ奉仕委員会は ①例会運営 ②親睦活動 ③会員増強 ④広報・会報 の4つの小委員会で構成され銚子ロータリークラブの要の委員会です。本年度石毛会長のテーマは「クラブの未来と活性化に向けて」が示され各小委員会委員長はそのテーマに沿って計画を立て目標に向けて現在活動中です。ご存知の通り、コロナ感染が収まらない状況の中にありながら、各小委員会の頑張りが有ります。

まず、宮内龍雄委員長がまとめている例会運営は3ヶ月先までの例会プログラムを作成することが求められ、特に卓話者の選定が大変だったと思います。それでも、2790地区の各奉仕責任者や会員の皆様に卓話を依頼しご協力を得ることでここまでやってこれたと思います。特に印象的だったのは、外部から藤田観光料理長村田真吾さんの卓話であったと思います。料理人として一番大事なことは技術の習得や、豊富な知識ではなく、誠実、謙虚、時間厳守であると師匠に教えられたと言っていました。これは人生において基本の教えだと思います。又、地区奉仕責任者では奉仕統括委員長の猫田岳治さんの卓話が印象に残っています。江戸時代の穀田屋十三郎(こくだやじゅうざぶろう)の話も人の為に命を懸けて寂れて街を復興させる話も感銘を受けました。行動することの大事さを思い知らされた卓話になりました。それ以上に例会出席率向上も難しい問題です。これは会員各位が例会に出席することで情報交換や親睦を図れることが大事との認識が必要です。コロナ禍に在ってもほとんど70%を超える出席率は良い方だと思われていますが80%を希望しています。

泉英伸委員長の親睦活動においては、完全にコロナに翻弄されました。人と人が集い、懇親を図ることが中心の活動です。コロナは人と人が

避けることを求められ、親睦とは真逆に位置しています。早くコロナの収束を見たいものです。

松本恭一委員長の会員増強は活発に活動し色々な情報を得ることにより、工藤会員と飯島会員2名の新入会が有りました。しかしながら、宮内会員の退会、木曾会員、馬場会員の退会も予定されています。退会者の補充については、木曾会員の後任、馬場会員の後任の方に入会をお願いする方向で活動中です。

多部田恵子委員長の広報・会報については、会報表紙の刷新や会員のコラム欄を新たに設けるなど積極的な活動をして頂き、広報の紙面が鮮やかになりました。例会での撮影も大岩会員の厳しい指導の下頑張っています。

残り、3ヶ月少しとなりました。最後まで頑張ります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。これでクラブ奉仕委員会の報告とさせていただきます。

職業奉仕委員会

佐藤 直子委員長



今年度初め【活動方針】に、大変僭越ではございますが掲げさせて頂きました「私たち職業人であるロータリアンは、この地域社会において何を提供することが出来るのか、こんな時だからこそ、その意義をもう一度考えてみる価値があるのではないのでしょうか。」と・・・「日常の活動＝仕事を通しての地域社会への貢献」を提案させて頂きました。これについては具体的に、例会運営委員長にご相談して、【事業計画】の1.に掲げた、会員による「自分の職業について」の卓話をもっとご依頼すれば良かったかと反省しております。

また、【方針】の中で、「職業の存続と奉仕の精神を広く地域に及ぼしていくことの価値」ということも上げさせて頂きました。皆様の事業でも2024年以降必須とされる「BCP策定計画」を求められている企業もあるかと思えます。これは地震や台風などの自然災害や感染症などのリスクに対して包括的に事業を継続するためには何をすべきなのかを予め考えておく必要があることを前提に策定します。実際に現在コロナ禍にあって、今後の事業の継続をどうしていくかを余儀なくされている状況下では本当に必要なことと改めて感じるところであり、将来に向けての仕事の在り方も同時に考えていければと思います。

日頃から皆様方は様々な困難を乗り越えてお仕事をされてこられたことと存じますが、長期に亘り続いておりますコロナウイルス感染の蔓延により、今までとは全く同じような形では仕事が成り立たなくなる等、殆どの方が多かれ少なかれその影響を受けてきたと思います。しかしながら、コロナ禍だからこそ！出来ることを考え、またやらなければならないことが沢山あるのではないのでしょうか。

この職業奉仕委員会は、特別なことをするまでもなく、皆様方は既に例会での活動以前に仕事に向き合っている方々の集合体ですから、後半戦は是非、お一人でもお二人でも、【活動計画】に上げさせて頂きました「自分の職業について」というお話をお聞かせ頂ければ幸いです。簡単ではございますが中間報告とさせていただきます。

国際奉仕委員会 寺内 忠正委員長 (代読：宮内秀章副委員長)



国際奉仕委員会より中間報告を致します。本日所用で欠席の寺内委員長に代わり副委員長宮内がご報告申し上げます。今年度の事業計画であるサウスダバオの支援を始め、対外的な事業はコロナ禍ということもあり、残念ながら全てが中止となりました。下期については、現在世界的な問題となっておりますロシア、ウクライナの紛争、また大規模噴火と津波の自然災害に見舞われたトンガ、こちらのウクライナ、トンガへの募金を考えております。詳しくは後ほど石毛会長よりご説明致します。小委員会では、R財団、米山記念奨学共に厳しい経済環境ではありますが、これから目標に向けて皆さんにご寄付のお願いに上がると思いますが宜しくお願い致します。

また米山奨学生ショハーン君のカウンセラーであります大里会員には、沢山の細やかなサポートを頂きありがとうございました。以上で中間報告となります。



トンガ王国
海底火山噴火による災害支援の募金ご協力を

社会奉仕委員会 淵岡 彰介委員長
(代読：信太秀紀副委員長)



1. 定例活動
 - (1) 薄暮時街頭監視活動
7月19日：夏季活動8名参加
9月30日：秋季活動7名参加
12月17日：冬季活動7名参加
 - (2) 希望の風奨学金募金

3/2 現在 159,450 円

2. 新たな取り組み

(1) コロナ対策 パーティション寄贈
市教育委員会へパーティション50枚を寄贈(教育委員会より市内小中学校へ配布)コスト削減のため、ヤマサ醤油で自作で使用している塩ビボードを新たに同社で制作。ロータリークラブと同会員企業の協働。

10月16日に市役所で市長、教育長など同席により贈呈式が挙行された(大衆日報紙にも掲載された)コロナ禍が落ち着いた中、本活動は当面継続としてもよいと考える。

(2) 中央公園ロータリー看板リニューアル老朽化により崩落していた看板を整備

(3) 社会奉仕活動に関する会員アンケートの実施(2月中)アンケート結果を社会奉仕委員会でまとめ、5月18日の例会で社会奉仕に関する意見交換会を企画している

春の交通安全運動 薄暮時街頭監視のお知らせ

4月15日(金)午後4時～ 銚子大橋交差点

※参加者はメイクアップの対象となります

※6日(水)出発式・交通安全キャンペーン参加は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各団体2名のみとなります。

青少年奉仕委員会 櫻井 公恵委員長
(代読：金島弘副委員長)



「活動方針」

感染予防対策のため、多くの行事が中止または延期となっています。思うように活動のできない日々が続きますが、年初の活動方針を改めて見直しますと、石毛会長の本年度の活動方針

は、「クラブの未来と活性化に向けて」～人と人とのつながりや助け合い思いやりを再確認すること～。残された期間で地域の子供たちを応援

する委員会活動を見出したいところです。

「活動計画」

1. 関東近県中学生野球大会支援・・・中止
 2. 第68回銚子市小中学校児童生徒・教職員科学作品展後援・・・9/11銚子ロータリークラブ賞としてトロフィー2基(今年度は感染対策として審査会と表彰式のみの実施となりました)
 3. 各青少年団体への協力・支援・・・12/11に2021COM CUP 英語・日本語スピーチ大会(オンライン)1万円交付
 4. 千葉科学大学 RAC の活性化(少委員会中心)・・・12/5例会時に助成金5万円を交付
- 「今後の予定」

R YLAへの参加・・・2月→6月に延期(金島副委員長・RAC2名の参加予定)

【出席報告】

会員総数 39名 出席計算 37名

出席 28名 欠席 9名

出席率 75.68%

欠席者：馬場君・淵岡君・廣瀬君・木曾君
村田君・寺内君・吉原君
鈴木君・高橋宏明君

【M U】

3/16次年度第8グループ会長幹事会
宮内(秀)君・信太君・高瀬君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 8,000	計	¥334,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 28,870
米山BOX	¥ 2,600	計	¥ 29,035
希望の風	¥ —	計	¥159,450

次週(3月30日)プログラム
仮題「ロータリーの次の時代を語る」

2021-22 ガバナーノミニー 鶴沢 和広様

お弁当：高浦(幕の内)

